

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

1 明るく元気な地域づくり

1-① 隣近所との交流

1-② 人が集い交流しあう拠点づくり

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
1	ふれあい いきいきサロン 助成事業	社協	身近な地域で仲間づくりや生きがいづくりの拠点の場としてのサロン活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンの運営支援(報告書及び次年度申請書作成の相談受付、必要に応じた助言、情報提供等) ・地域の茶の間・いきいきサロン助成事業個別相談会 日時 令和6年3月21日(木)、22(金)、25日(月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成を受けているサロンは56ヶ所 ・助成申請の負担を軽減するために、報告書様式について本部、各区社協と検討することができた。 ・継続運営の難しさを抱える団体へ引き続き支援する。
2	ふれあい いきいきサロン 立ち上げ支援	社協	高齢者等の閉じこもり防止や仲間づくり促進を目的として、居場所の意義を発信し、交流の場を求める地域へ、立ち上げまでの支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規立上げ件数:3カ所 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン立ち上げ支援を継続する。
3	げんきに育つ親 も子も ～妊娠期から支 え、見守る～ 令和5年 主要事業	児童 福祉 係	妊娠期からの母子を支援する体制をつくり、各種子育て支援事業を実施することで、親も親として育つことを支え、子育ての不安感や負担感を軽減し、地域で安心して子育てできるようサポートする。	<ul style="list-style-type: none"> ＜子育てサロン＞ ・区内中学校区4カ所 回数:58回、参加者数:541人 ＜産前産後のリフレッシュ事業＞ ・パパママ銭湯 回数:18回、参加者:181人 ・デイケアルーム 回数:18回、参加者130人 ・子育てサポーター訪問事業 養成講座5回実施、受講者延59人 訪問人数:207人 ・子育て支援者連絡会 子育てサポーター訪問事業養成講座のうち2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内中学校区ごとに行っている子育てサロンは、パパママプチ講座と合わせて各会場で今後も実施する。 ・産前産後の母親向けのリフレッシュ事業は好評であり、引き続き実施する。 ・子育てサポーター訪問事業は、外出できない保護者の気持ちを受け止めたり、相談先や支援事業を紹介するなど好評であった。今後も引き続き訪問を続ける。 ・子育て支援に関わる事業者、団体、医療機関等が情報共有し地域の子育て支援について理解を深める機会を設ける取組みを今後も実施する。

1-③ 人を支える組織の支援

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
1	地域ふれあい 事業	社協	住民主体の地域福祉活動を実施した自治会・町内会に助成し、地域におけるふれあい活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ふれあい事業 申請件数 45件 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を経て地域活動が進められるようになり、自治会・町内会で多世代交流や顔の見える関係作りの場として活用してもらい、申請件数が増加した。 ・事業の周知をし、地域におけるつながりや助け合い活動を推進する。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

1-④ 人材の育成とコーディネート機能の充実

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
1	地区社協育成・推進支援事業	社協	地区社会福祉協議会の活動が円滑にできるよう支援・助成する。	<ul style="list-style-type: none"> 地区社協活動交付金(11地区社協) 交付金額:各地区前年度社協会員会費納入額の25%+全地区前年度社協会費納入額総額×5%÷11地区 地域福祉活動計画推進事業 申請件数 20件 地区社協を主体として、地区担当が関わりながら取り組みを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回地域福祉懇談会(取り組みの確認、反省会)を開催した。 地区懇談会等をもとに各地区で地域課題に取り組むことができた。 地区社協が様々な地域課題等へ取り組めるよう地区社協交付金を交付する。 支え合いのしくみづくりや社会福祉法人公益事業等と連携した地域課題への取り組みを行う。
2	地区社協連絡会議	社協	各地区の活動等情報交換や交流を通して、地域における支え合い、助け合いを推進するため、「区社協福祉推進会議」を開催する。	<p>令和5年度は「赤い羽根共同募金」をテーマとして開催</p> <p>(1)日時 令和5年6月24日(土) 19:00~20:15 会場 新津地域交流センター 3階 多目的ホール</p> <p>(2)日時 令和5年6月30日(金) 14:00~15:15 会場 小須戸まちづくりセンター 3階 多目的ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 基調説明「地域福祉課題とこれからの地域福祉～求められている地域づくり～」 講師:新潟医療福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 青木 茂 氏 秋葉区社協の活動について 赤い羽根共同募金について 助成金について 説明:秋葉区社会福祉協議会職員 参加者 自治会長・町内会長、社協役員、職員 (1)58名 (2)38名 	<ul style="list-style-type: none"> 募金に対する様々な意見が地域住民から寄せられているため、自治会・町内会長へアンケート調査を実施した。また、この調査を基に、説明会を開催し、地域福祉課題の現状を伝えることができた。 令和6年度も、地域福祉課題(見守り活動等)や共同募金等を基に、地域における支え合いを検討する。
3	地域福祉推進フォーラム	社協	住民一人ひとりが、地域の課題に気づき、互いに共有し、解決しようとする力を身につけることができるよう、地域の繋がりを構築し、支え合う体制を実現するために先進的な事例を学び、効果的な地域活動が連携できるようフォーラムを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 日時 令和5年12月9日(土)13:30~16:00 会場 秋葉区文化会館 内容 社会福祉功労者表彰 シンポジウム 『支えあう想いから伝えあうカタチへ～地域共生社会を目指して～』 コーディネーター: 新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 教授 青木 茂 氏 シンポジスト: 地域の茶の間 三善道「絆」の会 会長 小林 俊介 氏 副会長 三澤 栄子 氏 新津第一・第二圏域支え合いのしくみづくり会議 構成員 中野 勇作 氏 ニコニコキッチン新津店 店長 佐々木 健 氏 秋葉区社会福祉協議会 コミュニティソーシャルワーカー 熨斗 綾香 	<ul style="list-style-type: none"> 会場参加、オンライン参加のハイブリット形式、情報保障体制も整え、様々な方に安心して参加いただけるよう環境を整えて開催し、254名から参加いただいた。 地域の茶の間の間や企業、支え合いのしくみづくりのそれぞれの想いを発信し、これからの地域福祉活動のあり方を考える機会となった。 今後も地域における先進的な取り組みや福祉課題などをテーマにして、地域福祉の啓発に努める。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

1-④ 人材の育成とコーディネート機能の充実(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
4	ボランティア講座	社協	個別の課題や地域課題に寄り添った講座を開催することで、誰もが安心して暮らし支え合う地域作りへと繋げる。親子の繋がりを深め、ボランティアへの興味を持ってもらうために開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア講座「障がいの理解 課題解決」 障がい児・者の将来のための今からできる準備講座 30名 ※個別相談で親亡き後の心配が寄せられていることから、事前にできる準備講座をボランティア・市民活動センターとコミュニティソーシャルワーカーで開催 ・ボランティア講座「障がいの理解」 満日地区対象 満日コミ協共催 13名 ※満日地区で行われている移動支援は満日コミ協と高齢者施設、障がい者施設が連携して取り組んでいる。障がいの理解とお互いの交流推進のために開催。 ・ボランティア講座「サイエンス☆ラボ」 43名(21組) 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの理解の講座では、障がいを持った方の親亡き後の将来について関心が高かったことが伺えた。今後も継続して取り組みを検討するにあたり、入口となる講座となった。また、地域課題の解決のために行った満日地区での講座も、地域と施設を繋ぐ大切な講座となった。 ・親子の繋がりを深めるサイエンス☆ラボは人気の講座であり今年度はボランティアについても学んでもらえる機会となった。 ・令和6年度も引き続き、障がいの理解、親子、課題解決、ボランティアきっかけの講座開催を予定している。 ・異業種の繋がりを深める取り組みも考えている。
5	ボランティア交流会	社協	交流会を開催し、各活動の理解を深め、ネットワークの強化を図る。	<p>対面でのボランティア交流会を開催予定。3/1(金) 参加対象・登録ボランティア(個人・団体)、地域の茶の間サロン関係者にいがたし元気力アップサポーター、施設</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動披露(朗読あきは、手話サークル竹の子、個人ボラ、小合さつきちゃん、PPKサポーターレディース) ・ボランティア体験 かみしばい(かみしばい青空)手話(みずわ、たけのこ、With)点字(まどか、根々)音声訳(さやの会)、要約筆記(ゆうた)、ハンドマッサージ(スマイル)小物づくり(元気力アップサポーター)孫育てかるた(NPOとらのまき) など ・秋葉区ボランティア・市民活動センターによるボランティアについて ・福祉施設販売(ぶどう工房、コトイロ、まくあけびー) 	<p>対面でボランティアの活動発表を見たり体験を聞くことでボランティア活動の参考にってもらうことができる。施設との繋がりの時間となるためやお互いのボランティア活動の理解や情報交換の場として必要な機会なので、開催の方法を工夫し、継続して実施する。</p>
6	地域出前講座	社協	学校、地域、各種団体に対し、福祉に関する理解と、啓発を目的に講座を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育(総合的な学習の時間)の支援・協力・小学校8校 中学校2校福祉体験(高齢者・視覚障がい・車いす体験・手話・点字)福祉講話(福祉・障がい・認サポ・SDGs・サロン・こどもについて)交流(盲導犬ユーザー・高齢者施設ZOOM交流・地域の茶の間・地域のボランティア) ・ボランティア講座 ボランティア連絡協議会 1件 ・防災講座 放課後児童クラブ子ども向け 2件 ・手話、点字講座 放課後児童クラブ 3件 ・認知症サポーター養成講座 新潟薬科大学 1件 ・支え合いのしくみづくり推進員による地域(サロン)での出前講座 新津第一・第二圏域 10ヶ所 (支え合いのしくみづくりと居場所の意義、社協事業について) 新津第五圏域 12ヶ所 (支え合いのしくみづくり、緊急情報キットを活用した見守り、認知症について、社協事業について) 小合・金津・小須戸圏域 19ヶ所 (支え合いのしくみづくり、サロンの効果、社協とは) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染が5類になったことでできなかった体験も多数できるようになった、地域に関心を持ち、支え合い・助け合いの気持ちが持てるよう関係機関や障がい当事者より協力をいただきながら進めてきた。交流の方法としてZOOM交流や地域の茶の間・サロンとの交流や地域のボランティアとの交流を行うことで地域福祉について身近に知ることができた ・今後も学校、企業、地域等に、福祉についての啓発ができるよう、様々な団体や人材とつながり、新たなプログラム作りや場作りをし、取り組みを継続する。また地域や施設と学校が繋がりを深めるよう社協内でも連携し協力しながら行っていきたい。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

1-④ 人材の育成とコーディネート機能の充実 (つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
7	元気力アップ サポーター事業	社協	65歳以上の高齢者が福祉施設(高齢・障がい・保育園・図書館・公民館など)でのサポート活動を行うことで自身の介護予防とともに、生きがいを見出し、元気になることでいきいきとした地域づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回登録説明会開催 説明会参加者延べ6名 秋葉区サポーター数 248名 受入協力機関 78施設 ・元気力アップサポーター応援事業毎月1回 4月～12月参加者延べ 132名 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、施設でのサポーター活動が出来ない状況の中、社協では月1回軽作業を行う日を設け施設から要望のあったものを作成する元気力アップ応援事業を開催した。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規登録者の活動の場は障がい者施設、図書館が主な活動先。コロナ禍の為、高齢者施設でのサポーター活動が難しいと考えられるため、社協では月1回軽作業を行う日を設け、施設から要望のあったものを作成し、施設との繋がりを保ち、またサポーターの活動意欲が無くならないよう支援した。 ・令和6年度応援事業は終了し施設での活動を行ってもらい施設との繋がりを保つよう支援する。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

2 安全で安心な地域づくり

2-① 安心して暮らせる支えあいの環境づくり

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
1	高齢者等 あんしん見守り ネットワーク 事業	高齢 介護 担当	高齢者等、地域の中で支援が必要と思われる方が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域住民や協力事業者による見守り活動の中で異変等を発見したときに、すみやかに対応できる体制を強化する。	・見守り意識の啓発 ・協力事業所としての登録の働きかけ	・見守り体制の構築・維持には地域が主体となって行っていく必要があることから、支えあいのしくみづくりを進めていくなかで、コミ協など地域へ働きかけを行っていく。
2	子育て 支援施設	福 児 祉 童 係	地域の子育て支援の情報収集・提供に努め、関係機関と連携しながら子育て支援に関する支援・相談を行う。(秋葉区子育て支援施設 4か所)	・各子育て支援センターでは、遊びの提供だけでなく、各種セミナーの開催、一時預かりの実施、子育てに関する相談への対応などさまざまな角度からの子育て支援を行っている。	・秋葉区内の子育て支援施設は4か所。今後もより多くの子育て世代から利用していただけるよう各子育て支援施設と連携し市民のニーズに合わせた活動を継続していく。
3	民生・児童委員 への支援	地 域 社 当 協 福 祉 担	地域住民の相談や見守り活動などを実施している民生委員・児童委員を支援することにより、一層安心して暮らせる地域づくりを目指す。	・秋葉区民生委員児童委員連絡協議会活動への協力 ・一斉改選に伴う候補者選出への支援 ・会長会・地区定例会出席 ・個々のケース支援	・全ての地区で欠員を出すことなく、定数どおり136名を委嘱することが出来た。引き続き、民生委員児童委員の活動を継続的に支援する。
4	妊娠・子育て ほっとステーショ ン事業	健 児 童 増 進 福 祉 係	妊娠期から子育て期(18歳未満)までの切れ目のない支援を行い、子育てについてひとりで悩まないようにサポートし、子育てしやすい環境を作る。	子ども虐待予防ネットワーク事業 ・実務者会議の開催(9回) ・個別ケース検討会議の開催(35回) ・妊娠・子育てほっとステーション体制整備の会議、研修を実施(3回) 相談件数 ・窓口 3602件 ・電話 756件 ・メール 2件 相談内容 ・出産準備、産後の過ごし方、子どもの体重増加や発達、入園方法など	・業務連携を見直したり、母子へのあるべき支援を考えることが出来た。引き続き切れ目ない支援のために、関係機関と顔の見える関係を築き、連携して対応する。
5	児童期・思春期 の子どもと保護 者の支援 令和5年 主要事業	児 童 福 祉 係	不登校などの子どもの課題に関する講演会や相談会を開催し、関係機関とも連携しながら、課題の解決を支援します。	・不登校などの子どもの課題に関する講演会・ワークショップ 開催回数:2回 参加者数:78名 ・不登校などの子どもの悩みを抱える保護者の相談会 開催回数:2回 参加者数:20名 ・子ども向け進路相談会 開催回数:2回 参加者数:10名	・講演会及びワークショップは、参加者アンケートの満足度も高く(90%以上)、内容についても好評であるため、次年度も開催し、参加者の抱える課題に応えられるよう努める。 ・相談会については、各関係機関と連携しながら相談者の課題解決となるよう、次年度も引き続き実施する。
6	障がい者用 住宅の整備	福 障 祉 が 係 係 い	障がい者の住みよい環境づくりに資するため、障がい者用市営住宅の確保や住宅リフォーム資金を助成する。	・住宅リフォーム資金助成 0件 ・障がい者用市営住宅 新規申請 0件	・引き続き制度の周知に努め、障がい者の住みよい環境づくりに努める。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

2-① 安心して暮らせる支えあいの環境づくり (つづき)

事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
7 友愛訪問事業	社協	75歳以上の高齢者世帯及び障がい者世帯等を対象に、民生委員児童委員や訪問員が定期的に訪問し、見守り・声かけをすることで安否の確認を行い、孤独感の解消とニーズ把握に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問世帯数 903世帯 ・延べ訪問回数 8,184回 ・訪問員数 142名 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動のツールとして各地区で実施。 ・民生委員児童委員と連携し、見守りを通して必要な支援につながるよう継続して実施する。
8 緊急キット配布事業	社協	75歳以上の高齢者世帯及び障がい者世帯を対象に、緊急時に備えて連絡先等を記載した情報キットを配布し、緊急時に備えると共に、地域での見守りの仕組みづくりを行う。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急情報キット一式配布数 <ul style="list-style-type: none"> 新津中央コミュニティ協議会 16本(内無料配布数 16本) 新津西部コミュニティ協議会 41本(内無料配布数 1本) 荻川コミュニティ振興協議会 155本(内無料配布数 41本) 東部コミュニティ協議会 100本(内無料配布数 0本) 阿賀浦コミュニティ協議会 30本(内無料配布数 10本) 2. 情報用紙更新 <ul style="list-style-type: none"> 荻川コミュニティ振興協議会 130枚 阿賀浦コミュニティ協議会 67枚 天神町内会 35枚 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急情報キットの配布を通して住民主体の訪問活動などが展開されている。新津第一・第二圏域支えあいのしくみづくり会議や阿賀浦地区においては、緊急情報キットの活用方法や緊急情報キットを活用した見守り活動について意見交換を行い、有効的な活用について検討した。 ・次年度以降も実施地区への支援を継続し、未実施の地区については活用事例を通じて必要性を伝えていく。
9 高齢者虐待に関する事業	介護 高齢者 担当	地域包括支援センター、ケアマネジャー、民生委員などと連携を図り、虐待防止に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の虐待ケースに包括ケアマネなど関係者と連携して対応 ・過年度からの継続ケースも含め定期的にモニタリングなど実施 個別事例対応受付件数 29件 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待ケースは原因、状況がさまざまで、対応も個々に異なる。また、数年に渡り継続対応が求められるケースも増えつつある。引き続き、包括など関係者との更なる情報共有、連携を深め、緊急性を的確にとらえ迅速に対応していく。
10 地域包括ケアシステムの構築	地域福祉・高齢介護担当	<p>地域における支えあいのしくみづくり、支え合い活動の推進を図るため、支えあいのしくみづくり会議(協議体)を設置し、コーディネーターである支えあいのしくみづくり推進員(生活支援コーディネーター)を配置する。</p> <p>地域住民同士の支えあいのしくみづくりを進めるために、地域包括ケア推進の拠点としてモデルハウスを設置し、地域の茶の間の運営や、生活支援、介護予防活動などを実施するとともに、その活動ノウハウの普及を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○秋葉区支えあいのしくみづくり会議(第1層協議体) ○新津第1・第2圏域支えあいのしくみづくり会議(第2層協議体) ○新津第5圏域支えあいのしくみづくり会議(第2層協議体) ○小合・金津・小須戸圏域支えあいのしくみづくり会議(第2層協議体) ※1 会議は6月、2月の2回開催 ※2 第1層、2層合同研修会 11月開催 認知症の人の理解とコミュニケーション方法 ※3 第1層および第2層支えあいのしくみづくり会議の運営事務局を、秋葉区社会福祉協議会に委託 ○秋葉区地域包括ケア推進モデルハウス「まちな茶の間 だんだん・鳴岡」 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:毎週火・土曜日 午前9時30分～午後12時00分(正午) ・利用料:300円 ・内容:ティールーム、保健師・作業療法士による相談(月1回)等 ・利用者数:延べ1,170人(※1回あたり 16.7人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援および介護予防サービスの体制整備に向け、地域ニーズの把握やネットワーク構築、定期的な情報共有などを行い、地域の支え合い活動の一層の推進を図っていく。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

2-① 安心して暮らせる支えあいの環境づくり(つづき)

事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
11 地域包括ケア推進事業	社協	支えあいのしくみづくり会議(協議体)運営の事務局として、支えあいのしくみづくり推進員を中心に、協議体構成員や各種団体との連携を図るとともに、小地域での見守りや生活支援の取組みなどの地域活動を支援する。	<p>【第1層事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度第1回秋葉区支えあいのしくみづくり会議 日時:令和5年6月28日(水) 10:00~11:30 内容:2層支えあいのしくみづくり会議報告 令和5年度の取り組みについて(第1層・第2層3圏域)認知症の取り組みについて ○令和5年度第2回秋葉区支えあいのしくみづくり会議 日時:令和6年3月13日(水)10:00~11:30(予定) 内容:1層、各圏域の活動報告 ・令和5年度のふり返し・令和6年度の取り組みについて ○令和5年度地域福祉推進会議 日時:令和5年6月24日(土)19:00~20:15 令和5年6月30日(木)14:00~15:15 テーマ:赤い羽根共同募金 ○令和5年度秋葉区第1層及び第2層支えあいのしくみづくり研修会 日時:令和5年11月8日(水)10:00~11:30 テーマ:認知症 ○令和5年度秋葉区社会福祉法人等ネットワーク研修会 日時:令和6年1月19日(金)14:00~15:30 テーマ:社会福祉法人による地域貢献活動 ○各地区地域福祉懇談会(別紙のとおり) <p>【第2層 新津第一・第二圏域事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度第1回新津第一・第二圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和5年6月8日(木)10:00~11:30 内容:令和4年度のふり返し、令和5年度の取り組みについて ○令和5年度第2回新津第一・第二圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和6年2月8日(木)13:30~15:00(予定) 内容:令和5年度のふり返し、令和6年度の取り組みについて <p>【第2層 新津第五圏域事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度第1回新津五圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和5年6月5日(月)10:00~11:30 内容:令和4年度のふり返し、令和5年度の取り組みについて ○令和5年度第2回新津五圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和6年2月5日(月)10:00~11:30 内容:令和5年度のふり返し、令和6年度の取り組みについて <p>【第2層 小合・金津・小須戸圏域事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度第1回小合・金津・小須戸圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和5年6月7日(水)10:00~11:30 内容:令和4年度のふり返し、令和5年度の取り組みについて ○令和5年度第2回小合・金津・小須戸圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和6年2月7日(水)10:00~11:30 内容:令和5年度のふり返し、令和6年度の取り組みについて 	<p>【第1層】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉懇談会を11地区で2回ずつ開催し、取り組みの確認や評価、次年度へ向けての取り組みが確認できた。 ・支え合う地域づくりを進めるうえで秋葉区全体で取り組むべき課題の一つである「認知症」をテーマに研修会等を開催し、各地区で取り組みを進める一助とすることができた。 ・社会福祉法人による地域課題に対する地域貢献活動の取り組みのきっかけとして、研修会を開催した。 ・モデルハウスだんだん嶋岡で夏休みに子どもの居場所づくりに取り組み、ふり返しを経て、来年度も継続して実施する。 ・モデルハウスだんだん嶋岡の課題等に対する取り組みを進めるとともに、その活動内容を区内に発信する。 ・社会福祉法人、学校や企業等連携し、認知症サポーター養成講座等の取り組みを進めていく。 ・地域課題にあった研修会を開催するなど第2層(地域)が取り組みやすい支援を行っていく。 <p>【第2層】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の課題は福祉懇談会を基に地区ごとに取り組みを進めていき、支えあいのしくみづくり会議では圏域共通の課題について検討してそれを地域福祉活動に活かすことでよりよい地域づくりにつなげることができた。 〈地区ごとの課題に応じた取り組み〉 支えあいのしくみづくりの周知 サロンの立ち上げ、運営支援(情報交換会の開催) 見守り活動の取り組みの検討 社会福祉法人と連携した移動支援の検討、実施 除雪の取り組みの検討 生活支援(草刈り等)の取り組みの検討 〈支えあいのしくみづくりの各圏域のテーマ〉 緊急情報キットの活用方法について 見守りにおける認知症の対応について 見守り対象外世帯の課題について 支えあいのしくみづくりの取り組み方法について 支えあいのしくみづくりの周知について 圏域全体での取り組みについて ・次年度も継続して検討を進めるとともに、新たな課題に対する取り組みも検討していく。今後も地域福祉計画・地域福祉活動計画と一体となった取り組みを進めていく。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

2-① 安心して暮らせる支えあいの環境づくり(つづき)

事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
12 ゴミ出し支援事業	社協	既存の制度では対応が難しい複雑・多様化した生活・福祉課題に対応するため、ゴミ出し支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 実施団体:4自治会・町内会(古津,新町,秋葉2丁目,金津) 新津清掃社へ地域の報告会の状況を共有、意見交換会を実施した。 2月に、自治会・町内会ごとにふり返りを行う予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミだし支援だけではなく、災害時、日頃の見守りを全体的に見ている自治会もある。 ・新津清掃社との打合せ会は、3包括支援センターも含めて開催した。今後も会議の在り方について検討していく。
13 子育て支援事業	社協	地域で暮らす子育て世代の誰もが気軽に参加できる居場所作りを目指し、子育てサロンの運営を行えるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規居場所開催団体 1団体 ・助成申請団体 4団体 ・子どもの居場所活動団体情報交換会 令和6年2月28日 開催予定 内容:子どもの居場所活動団体紹介、ひとり親世帯の福祉に関するアンケート結果報告とグループワーク、情報共有、助成金説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法に基づき18歳未満の子どもを対象とした、子どもの居場所づくり活動団体へ助成を実施した。 ・子どもの居場所活動団体情報交換会を開催し、各団体の活動の方法や情報の共有を図った。 ・子ども食堂立ち上げ相談が1件あったが、既存の団体へつなぐことができた。 ・次年度は、既存の団体への継続支援、新規立ち上げ団体への立ち上げ支援を行う。 ・ひとり親世帯の福祉に関するアンケート結果に、子どもの居場所、子ども食堂の今後の運営の在り方について検討していく。
14 歳末たすけあい助成事業	社協	地域住民が主体となって行う歳末時期の交流活動や除雪支援活動に対して助成し、住民相互の助け合いの輪を広げ、日常の見守り活動を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会が行う交流事業に対し、助成を行った。 →申請件数 10件 ・自治会・町内会が行う除雪事業に対し、助成を行った。 →申請件数11件 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域における交流事業と、要援護者宅や児童通学路の除雪を通して、たすけあいや見守り活動を推進していく。
15 入学準備支援事業	社協	ひとり親世帯および低所得者(生活困窮含む)世帯の子どもたちに健全な育ちの機会と十分な教育を保障する一助として小学校及び中学校に入学準備としてランドセル又は体操着の助成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者:ひとり親世帯で市民税非課税世帯 ・助成件数 13件 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉区役所児童福祉係から協力をいただき、対象世帯への事業案内を行った。 ・次年度も取り組みを継続する。

2-② 安全で快適な生活環境づくり

事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
1 災害ボランティアセンター運営コーディネーター研修事業	社協	災害時における秋葉区災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営、関係機関や地域等との連携確認のための研修会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア研修 日時:令和5年11月26日(土)10:30~15:30 会場:里山ビクターセンター 内容:【午前の部】災害対策本部、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練(役職員向け) 【午後の部】関係機関との立ち上げ連携訓練(一般向け) 参加者:午前36名 午後41名 	<ul style="list-style-type: none"> ・午前中の研修では災害発生時の職員間の緊急連絡網確認及び、役職員に向けて災害ボランティアセンターの立ち上げまでに沿った役割の確認や連絡体制についての確認、午後は、災害ボランティアセンター運営、サテライト運営、地域、区対策本部とそれぞれの班に分かれ、どのような役割を担い、交渉を行いながら連携をしていくのか話し合い、訓練を行った。 ・今回の研修では、令和4年度の研修を基に、より実地に近い立ち上げ訓練を行い、関係機関・団体との連携について確認となった。 ・今回の研修会で出された課題等をもとに次年度も災害ボランティアセンターの運営研修を継続する。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3 健康で豊かな地域づくり

3-① 地域における健康づくりの推進

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
1	乳幼児健康診査・育児相談事業	健康増進係	乳幼児の健やかな発達・発育の支援と、疾病予防や早期発見を目的とする。健診や育児相談の機会をとらえて、子育てに必要な情報提供や保育者支援を実施。	<乳幼児健康診査> ・股関節検診 : 8回 受診者306人(受診率90.8%) ・母体保護相談 : 8回 受診者308人 ・1歳6か月児健診 : 10回・受診者363人(受診率96.1%) ・3歳児健診 : 10回・受診者372人(受診率98.1%) ・未受診者は全て情報の確認が行われた。 <定例日育児相談> ・定例日育児相談 : 10回・相談者 延273人	・各種健診の場面では、保護者の思いを受け止めたり、子育てに必要な情報を提供するなど支援を行うことが出来た。乳幼児健診未受診者へは地区担当保健師が全数の状況を確認し、育児相談を行う等支援ができた。 ・定例日育児相談の相談者数は延べ44人増加。体格や食事の悩みが多く適切な支援を行った。引き続き開催していく。
2	成人集団検診事業	健康増進係	各種がん検診を実施し、病気の早期発見、健康増進に努める。	・肺がん検診 : 19回+ミニドック4回+新津成人病検診センター 受診者3415人 ・胃がん検診 : 11回 受診者441人 ・乳がん検診 : 17回 受診者852人 * 肺がん検診は、定期の集団検診の他に未受診者対象のミニドック型健診を2日間(半日4回)、新津成人病検診センターで定例実施 * 乳がん検診は、協会けんぽとのコラボ検診を1~2月に2日間(半日4回)実施	<肺がん検診> ・受診者数はコロナ禍に比べ回復傾向にある。しかし受診控えの傾向は継続しており、引き続き受診勧奨を実施していく。 <胃・乳がん検診> 胃がん検診は前年度より受診者数は横倍、乳がん検診は増加した。しかし、若い世代での受診率が伸びないため、引継ぎ普及啓発を実施していく。
3	歯科保健事業	健康増進係	各種歯科健診を実施し、治療が必要な歯を早期発見し、適切な治療につなげる。歯科指導の際に食生活やむし歯の予防について助言し、幼児の健全な育成を図る。	・1歳誕生歯科健診 : 10回 受診者301人(受診率92.9%) 栄養相談: 79人 育児相談: 23人 ・1歳6か月児歯科健診: 10回・受診者363人(受診率96.1%) ・3歳6か月児歯科健診: 10回・受診者372人(受診率98.1%) ・2歳児歯科健診(施設健診): 受診者239人(受診率66.8%)	栄養相談、育児相談を併設することで、保護者の困り感や不安の軽減につながった。引き続き疾病の早期発見と、歯科衛生士・栄養士・保健師による子育て支援を行っていく。
4	特定保健指導事業	健康増進係	特定健診の結果、メタボリックシンドローム該当者及び予備群と判定された方を対象に、メタボリックシンドロームを改善するため、生活習慣改善の支援を行う。	・特定保健指導の対象者に対し、特定保健指導の案内及び再案内を個別通知。電話勧奨を再開。 ・実施回数(個別) 19回 延べ27人参加 対象者数 : 179人 被指導実数 : 36人(20.1%)	・対象者が年々減少傾向。その中で勧奨しているため、参加者数の伸び悩みが続いている。受診へつながるよう再通知を実施していく。また訪問による勧奨の実施を検討する。
5	健康教育事業	地域保健福祉担当	心身の健康に関する知識を普及啓発することにより行動変容を促し、主体的に健康保持・増進できるよう支援する。	・依頼健康教育 : 成人 延33回 519人, 母子 延8回 180人	・母子は依頼が増加し、成人はフレイル関連のニーズが増加し、資料を用いながら健康情報をお伝えすることが出来た。 次年度も健康教育などの教室をコミ協、サロン、老人クラブ、子育て支援センター等に広く周知し、どの年代にも健康づくりに向けた知識の普及を継続実施する。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3-① 地域における健康づくりの推進(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
6	食育関連事業	増進係 健康係	幅広い世代に亘って、食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することができるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食講習会 : 16回 96人 (講話内に減塩を加えた) 健康増進普及講習会(テーマは糖尿病予防、脂質異常予防と減塩): 4会場7回 124人参加 	<ul style="list-style-type: none"> 計画したテーマで講話ができた。生活改善に取り組みたいなどの声が聞かれた。 今後も全世代の共通課題である減塩を啓発していく。 健診結果で血糖値有所見者率が高いことから、次年度も糖尿病予防をテーマに実施する。
7	思春期保健事業	増進係 健康係	思春期の心身の変化を学び、健全な発達・発育ができる機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 中学校における思春期保健講演会の実施 「生と性の講演会」区内6中学校5クラスで実施 受講生徒数:686人 	<ul style="list-style-type: none"> 希望した学校で予定通り実施できた。 中高生が性についての正しい知識を持ち、自ら考えて行動していくための普及啓発が必要なことから次年度も秋葉区内の全中学校、高校に希望調査を実施し思春期教育の機会を提供する。
8	幸齢ますます元気教室(運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上複合プログラム)	健康増進係	生活機能の低下がある、低栄養状態にある又はその恐れがあるなど要介護状態に陥りやすい高齢者や要支援認定者を対象に、集団で運動、栄養、口腔機能向上指導などを行い、生活機能の維持改善を図り要介護状態になることを予防する。	<ul style="list-style-type: none"> 幸齢ますます元気教室 3会場で実施 参加者:実99人 延1188人 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員地区定例会や高齢者が集まる他事業等で教室の周知を行い、対象者を教室につなげた。 修了後により多くの方が介護予防できる活動場所につながるよう支援し、自主サークルは増加した。 引き続き介護予防の必要な方が支援を受けられるよう取り組む。
9	食生活改善推進委員育成支援 運動普及推進委員育成支援	健康増進係	食生活改善推進委員及び運動普及推進委員の活動支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 食生活改善推進委員育成支援 令和5年度7人入会 勉強会 延4回実施 食生活改善推進委員(会員45人) 延80人参加 勉強会のテーマを元に地区担当保健師・栄養士とともに、地区の健康増進普及講習会を実施 7回開催 124人参加 運動普及推進委員育成支援 連絡会に出席し、活動支援を実施 9回 延225人参加 	<ul style="list-style-type: none"> 予定していた勉強会など実施できた。引き続き、食生活改善推進委員育成支援として、会員の資質向上が図れるよう、年4回の勉強会を実施する。 運動普及推進委員の活動場所を拡げることができた。引き続き、活動が発展するよう支援を行う。
10	地域ぐるみでフレイル予防事業 令和5年度主要事業	地域保健福祉担当	新型コロナウイルス感染対策による身体活動の低下から、高齢者だけでなく、子どものロコモ予防も含めたフレイル(適切な対応をすれば健康な状態に戻る虚弱な状態)予防の実践方法の普及啓発を行い、区民が支え合いながら健康づくり活動が継続できるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> フレイル予防教室 : 3会場/2回コース 延73人 保健師による健康教育 47回 延736人 サポーターフォロー研修 : 1回 28人参加 ラジオ体操取り組み新規団体数:5団体 ラジオ体操カード100日達成者数 延143人 	<ul style="list-style-type: none"> 3圏域ごとにR5年度と違う会場でフレイル予防教室を実施し、参加範囲を拡げる。 高齢者のフレイル予防だけでなく、子どものロコモが懸念されるため、地域でラジオ体操を継続できるよう支援し運動習慣の定着を図る。 ロコモ予防体操など運動に取り組む団体数の伸び悩みがあるため、コミ協とともに継続可能な実施方法を検討する。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3-① 地域における健康づくりの推進(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
11	こんにちは赤ちゃん訪問事業	増進係 健康係	新生児・産婦に対し健康指導を行い、健康の保持増進及び育児支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問登録助産師による訪問を実施した人数 実484人 延べ690人 ・未訪問2件 股関節検診にて状況確認実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全数対面で生活状況を確認し育児支援を行った。引き続き全数対面で支援ができるよう取り組んでいく。
12	健康相談事業	地域保健福祉担当 健康増進係	健康問題について個別に相談を行い、日常生活や食事の指導を通して生活習慣病を予防するとともに自らの健康管理ができるよう支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・定例日健康相談 :9回 実20人 延20人 ・随時健康相談(電話・来所・メールなど) 延1,820人 ・骨粗しょう症予防相談会:8回 300人 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例日健康相談の予約状況は毎月ばらつきがあるものの、一定数のニーズがある。次年度も同様に実施していく。 ・骨粗しょう症予防相談会はがん検診、育児相談等の事業と併せて実施することで、幅広い層の受診につながった。次年度も、他事業と併設し、会場を分散させ受診しやすい環境整備を整えていく。
13	健康寿命延伸に向けた区役所事業	健康増進係	健康寿命延伸にむけ、地域の健康課題に基づき、区内のさまざまな機関と協働し、子どもを含めた幅広い世代を対象に、生活習慣病への関心を高め、健康自立ができるまちづくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康ミニ教室: 6回実施 延102人 ・糖尿病予防相談会: 2回(2回1コース) 延97人 ・親子向けの生活習慣病予防への取り組み: 小学6年生を対象に生活習慣アンケート(回答125人)、ジュニアドック(受診89人/予約100人)、からだづくり講座(親子22組55人)を実施した。 ・健康部会: 健康レストラン登録店は薬科大学学生によるSNSを活用した周知を行った。登録数は、9店舗増え合計44店舗となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室や相談会は予定通り実施できた。今後もコミ協との相談により地域への事業周知や事業実施計画を立てていく。 ・親子向けの取り組みは、予定した事業が実施でき、親子で生活習慣を振り返る機会となった。小学校から協力してもらい保護者メールを活用することで大勢の参加につながった。ジュニアドックは土曜を含む複数日設けることで参加がしやすかった。 ・健康部会は、予定した事業が実施できた。引き続き健康レストラン登録店への学生による支援や登録支援事業を実施していく。秋葉区文化会館と連携しひと・まち・みらいフォーラムを開催していく。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3-② すべての人が互いに尊重しあえる地域を実現するための啓発と普及

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
1	認知症サポーター養成講座	介護高齢担当	認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポーターを養成する。	・認知症サポーター養成講座の開催 開催数:16回 地域住民10回, 小・中学校4回, 大学1回、職域(企業など)1回 参加者(サポーター)数:351名	・引き続き講座を開催し、認知症サポーターを養成していく。また、区職員を対象とした講座を開催し、職員の意識啓発を図っていく。 ・認知症サポーターを対象に、ステップアップ講座を開催する。
2	障がい者との交流の促進	福祉係	障がい福祉施設や地域の団体(コミュニティ協議会、自治会等)との交流を積極的に働きかけ、障がい者への社会参加・理解を広める。	・どんちゃんまつり 開催日:8月26日(土) ・癒しの福祉ゾーンまつり ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 開催日:10月予定	・癒しの福祉ゾーンまつりは新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となったが、どんちゃんまつりは開催され、多くの地域住民も参加して交流が図られた。
3	あきはサポートネット 令和5年度主要事業	高齢介護担当	認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進するため、区民や団体、教育機関等とネットワークづくりを行い、区民協働による「認知症高齢者等と支える家族にやさしい秋葉区」を目指す。	・秋葉区認知症講演会「認知症になっても安心して暮らし続けていくために」 令和6年3月2日開催予定 講演会を録画したDVDを区内の団体・企業に貸出 ・認知症カフェ 年2回開催(7月、11月)、参加者はそれぞれ14人、12人。	・区民向けの認知症講演会や認知症サポーターステップアップ講座を開催するとともに、地域における認知症高齢者等の見守りについて意識啓発を図る。 ・秋葉区キャラバンメイト連絡会による認知症カフェの開催支援を行う。
4	「けやき福祉園と日赤秋葉区奉仕団の交流」への協力	福祉地域担当	日赤奉仕団の炊出し訓練を兼ねた、障がい者福祉施設「けやき福祉園」の利用者との交流を行い、障がい者への理解の促進に努める。	・炊出し訓練及び交流会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大人数での飲食は難しく中止となった。 ・施設利用者からの希望も多く、日赤奉仕団と障がい者福祉施設との交流を図るため、新型コロナウイルス感染拡大防止を図りつつ適宜実施していく。
5	障がい者チャレンジ支援事業	福祉係	福祉施設に通所する障がい者に事務作業訓練の場を提供し、就労に向けた能力向上と生きがいのある生活を支援する。	・実習受入れ先:13ヶ所(区役所含む) (秋葉区役所、割烹一楽、森林農園、うららこすど 他) ・実習状況:実施日数43日 参加延べ人数134人	・区役所や民間事業所で実習を行い、就労に対する意識が高まり自信に繋がった。 ・各事業所へ障がい者への理解を進める。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3-② すべての人が互いに尊重しあえる地域を実現するための啓発と普及 (つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
6	「つながる」 「広げる」 障がい者 支援事業 ※令和5年度 主要事業	障がい 福祉係	障がい児に関わる医療・保健・福祉・教育・労働などの各機関が保護者とともに必要な情報を共有するシステムづくりを行う。 また、発達に支援の必要な児童の保護者に対する講座を行うことで、悩みや心配ごとを共有できる仲間づくりを推進し、不安感や孤立感の解消を図る。 市民を対象に、障がい者への理解を深め地域で支える仕組みづくりを考える講座を開催し、支援者等の輪を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル 利用者(配付)数 37人(延べ280人) ・ノーバディズ・パーフェクトプログラム講座(保護者支援講座) 開催日:9月20日～10月25日(全5回) 参加延べ人数:19人 ・障がい者理解講座「精神障がいを知ろう～当事者が語る困りごと～」 開催日:1月14日(日)実施予定 講師:NPO法人にいがた温もりの会、新津精神保健福祉ボランティアひだまり 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規サービス利用の相談時等に「つながる支援ファイル」を配付した。次年度もファイルの配付を継続し、関係機関が必要な情報を共有して支援を行えるよう活用を図る。 ・療育教室等に通う2～3歳児の保護者を対象に支援講座を開催し、悩みを共有したり、子どもの成長を感じることで、子育てに前向きになれる機会を創出した。 ・当事者が「精神障がい」の体験談を語ることで、分かりやすく、障がいへの理解を進める。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

4 相談しやすい体制づくり

4-① 地域福祉のネットワークの構築

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
1	ふれあい福祉サービス事業	社協	秋葉区在住のひとり暮らし高齢者等(利用会員)の依頼により、ボランティアとして登録する協力会員が自宅に訪問し、見守りや話し相手を兼ねた軽微な生活支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・協力会員 48名 ・利用会員 71名 ・サービス提供回数 1,634回 ・活動時間 1,282.5時間 ・福祉サービスの提供、コーディネート、関係機関等との連絡調整 ・ふれあい福祉サービス交流会及び研修会の開催 日時:令和5年11月17日(金)10:00~11:30 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスを提供することによって在宅で過ごすための一助となっており、ゴミ出しなどの利用が中心であった。 ・協力会員を対象に交流会及び研修会を3年ぶりに開催し、心がまえの確認や情報共有を行った。 ・今後も利用者ニーズに対応できるようサービス内容の検討、協力会員の確保と住民参加型在宅福祉サービスに対する理解を深めていく。
2	成年後見人制度の周知	介護高齢担当	認知症や障がいなど判断に支援を要する方々に、それぞれのレベルに合わせて後見人、保佐人、補助人を家庭裁判所が選任し、必要な支援を行う制度について、周知啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット等による周知啓発 ・成年後見制度利用支援助成金 33件交付 ・成年後見審判 市長申立 2件 	<ul style="list-style-type: none"> ・制度利用を必要とする人への周知を図るため、地域包括支援センターと協力し、地域の啓発活動を進める。 ・成年後見センターとも連携していく。
3	日常生活自立支援事業	社協	判断能力に不安のある高齢者や知的障がい者、精神障がい者の福祉サービスの利用援助や金銭管理等を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 秋葉区 17人 ・生活支援員 秋葉区 8人 ・支援回数 秋葉区 206回 ・相談件数 秋葉区 214回 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉関係者等に対して、本事業の周知を継続する。 ・本人の自立を大切にしながら、生活支援員、専門員、関係者等との連携を密に行い支援する。
4	自立支援協議会	障がい福祉係	障がいのある人もない人も安心して暮らせる共生社会を実現することを目的として、関係機関が連携・一体となって障がいのある方を支援するために協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所障がい福祉課開催 全体会議 2回 運営事務局会議 4回 ・秋葉区障がい者地域自立支援協議会 4回 ・課題別ワーキング検討会 3課題 各3~4回 ・相談連絡会 計15回(うち5回は高齢福祉・障がい福祉連携チーム会議) ・障がい児「つながる」支援セミナー 開催日:8月1日 参加者:58人(区内小・中学校、特別支援学校、児童発達支援センター、放課後等デイサービス、相談支援事業所 など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・区協議会で地域課題等について情報共有し、検討を重ねる中で、関係機関とのネットワークを構築することができた。 ・各区で課題を出し合い、課題整理や社会資源の開発・改善、施策提案などの役割を担っている。
5	保健福祉相談・訪問指導事業	福祉地域担当保健	精神障がい、知的障がい、身体障がい、児童虐待、高齢者虐待、結核、難病、生活習慣病など、妊婦・乳幼児から高齢者までの保健・福祉に関する相談に対して、関係機関と連携し、迅速に対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦・乳幼児から高齢者までの保健・福祉の相談に対して、保健師が関係機関と連携し迅速に対応。 相談件数 延べ 1,161人 訪問件数 延べ 590人 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急対応が必要な相談や処遇困難な相談も多く、より迅速な対応が課題。 ・次年度も関係機関と連携し、迅速に相談対応していく。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

4-① 地域福祉のネットワークの構築(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
6	ドメスティック・バイオレンス(DV)相談窓口	保護係	ドメスティック・バイオレンス(DV)について相談しやすい環境づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談 <女性相談員1名配置> 相談件数(実件数) 51件 相談件数(延件数) 155件 内訳: DV113件, 親からの暴力23件, 子どもからの暴力4件 など 	<ul style="list-style-type: none"> 主訴はDVや離婚に関する事であるが, 貧困, 虐待, 医療など複合的に, 問題を抱えた相談者が多い。 FMIにいつ等を活用し, 相談窓口や制度の周知を行った。 次年度も配偶者暴力支援センター等と連携し, 支援を行っていく。
7	生活困窮者相談支援	保護係	経済的に困窮している方について, 相談しやすい環境づくりに努め, 就労に向けた支援や住居確保のための支援など, 相談者の状況に応じた支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者自立支援相談 <生活支援相談員1名配置> 新規相談件数(実件数) 20件 継続案件相談等件数 482件 	<ul style="list-style-type: none"> 就労, 住居確保, 家計改善, 食糧支援などを行い, 自立に繋げた。 FMIにいつ等を活用し, 相談窓口や制度の周知を行った。 次年度もパーソナルサポートセンター等と連携し, 就労支援や住居確保給付金を含めた支援を行っていく。
8	生活困窮者緊急支援事業	社協	緊急的に支援が必要な生活困窮世帯に対し, 食糧物資等の援助及び相談支援, 生活支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者からの相談により聞き取りを行い, パーソナルサポートセンター等関係機関と連携して支援を行っている。 申請件数 3件 	<ul style="list-style-type: none"> パーソナルサポートセンター等関係諸機関と連携して相談支援や食糧支援などを実施した。次年度も同様に事業を実施していく。

4-② 適切な情報提供体制づくり

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
1	点字広報等発行事業	福祉が係	視覚障がい者へ点字による情報提供を行う。 (秋葉区社会福祉協議会へ委託)	<ul style="list-style-type: none"> カレンダーの発行(12月末) JR時刻表の発行(3月末予定) 点字 利用者: 8人 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア団体と連携のもと, 必要としている方へ情報を提供する。
2	心配ごと相談所の周知	社協	相談所を週2回開設し, 市民の悩みを受け止め関係機関につなぐ。	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数: 126件 周知: 区役所だより(月2回), 区社協ホームページ掲載 相談員研修会: 令和5年12月1日(金) / 講師 新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉 肥田野 淳平 氏 	<ul style="list-style-type: none"> 相談内容に応じて, 関係機関へつなぎ, 連携した支援になった。 区社協だよりや区役所だよりへ掲載し, 周知・広報活動を実施する。 相談者に寄り添った相談対応を継続する。

令和5年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

4-② 適切な情報提供体制づくり(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和5年度)	令和5年度実施状況(令和5年12月末現在)	評価・課題(令和5年度)と次年度計画(令和6年度)
3	障がい者 基幹相談支援 センター秋葉 の運営	障 が い 福 祉 係	一般的相談支援に加え、施設からの地域移行促進に係るコーディネート業務や、権利擁護・虐待防止にかかる啓発、研修、相談支援事業所への研修を通じた人材育成や助言指導なども行う。また、障がい等を理由とした差別に関する相談対応、障がい者が安心して地域で暮らせる体制を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「障がい者基幹相談支援センター秋葉」 相談員5名(担当エリア:秋葉区、江南区、南区) 相談件数 4,248件 (訪問406件、来所206件、電話3,232件、その他404件) ・個別支援(ケース)会議 111回 ・会議、研修会への参加 275回 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人もない人も安心して地域で暮らせるように、総合的な相談窓口として更に周知を行う。
4	社協の相談窓口 体制整備	社 協	<p>コミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、個別課題等に対する検討・解決を図り、関係機関と連携をしながら積極的にアウトリーチを進める。</p> <p>ひとり親世帯への食料支援を実施し、今後のひとり親世帯相談支援について考えるため、ひとり親世帯の福祉に関するアンケート調査を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親世帯への食料支援(配布数245世帯) ・ひきこもり家族支援: ①ひきこもり家族の懇談会 ファシリテーター:新潟市ひきこもり相談支援センター 齋藤 勇太 氏、 元ひきこもり当事者 実施:2回 ②ひきこもりを学ぶ講座 日時:10月8日(日)14:00~ 講師:長岡崇徳大学 看護学部看護学科 齋藤 まさ子氏 内容:「ひきこもりの理解と支援」 ・地区担当との協働により、個別課題等に対応。 ・地域アセスメント ・CSW定例会(本部開催への参加, 活動報告及び事例検討随時) ・各種会議等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉区役所児童福祉係の協力によりひとり親世帯へ食料支援を実施した。次年度も継続し、困りごとを抱える世帯への支援に繋げていく。 ひとり親世帯の福祉に関するアンケート実施し、ひとり親世帯が抱える課題について、今後も支援できるよう検討していく。 ・関係機関と連携し、自治会・町内会・民生委員等の協力をいただきながら、課題を抱える方への個別支援および地域支援を実施。 ・次年度も、地域住民・関係機関との連携を密に、取り組みを進める。